

平泉野外学習帳

知れば知るほど夢中になる歴史探訪





目次

- さあ、世界^{いさん}遺産見学へ 2
- 基本^{きほんてき}的な内容^{ないよう}を知ろう 3
- 平泉^{ひらいずみちようぶん}町文化^か遺産^{いさん}マップ 4
- 中尊^{ちゅうそんじ}寺 5～8
- 毛越^{もうつうじ}寺、観自在^{かんじざい}王院^{おういん}跡 9～10
- 無量光^{むりようこういん}院^{いん}跡、金鷄^{きんけい}山^{さん} 11～12
- 柳^{やなぎ}之^の御所^{ごしょ}遺跡^{いせき} 13～14
- 達谷^{たっこくの}窟^{いわや}、白鳥^{しろとり}館^{たてい}遺跡^{いせき}、長者^{ちやうじゃ}ヶ原^{がはら}廃^{はい}寺^じ跡^{あと}、骨^{ほね}寺^{でら}村^{むら}莊^{しょう}園^{えん}遺跡^{いせき} 15～17
- 発^は展^{ってん}学^{がく}習^{しゅう} 18

★さあ、世界遺産見学へ★

1 野外学習のめあて

- ★ 実際^{じっさい}に現地^{げんち}を訪^{おとず}れて、約^{やく} 900 年前^{ひとびと}にこの地^ちに生^なきた人々^{ひとびと}によって造^{つく}（創^{つく}）り出^だされた歴^{れき}史的^{してき}・芸^{げい}術^{じゆつ}的^{てき}に価^か値^ちのある文^{ぶん}化^か遺^い産^{さん}（文^{ぶん}化^か財^{ざい}）をみることにより、平^{ひら}泉^{いずみ}の歴^{れき}史^しや文^{ぶん}化^かに関^{かん}心^{しん}を持^もとう。
- ★ なぜ、平^{ひら}泉^{いずみ}の文^{ぶん}化^か遺^い産^{さん}が、世^せ界^{かい}文^{ぶん}化^か遺^い産^{さん}に登^{とう}録^{ろく}されたのかを知^しろう。

2 見学のポイント

- (1) 細^こい部^ぶ分^{ぶん}ま^までじ^じく^くり^りと見^みよう。
- (2) 建^たてもの^{もの}や庭^{てい}園^{えん}な^なの^の実^じ際^{さい}の^の大^{だい}き^きさ^さを^を知^しろ^う。
- (3) まわ^{まわ}りの^の景^{けい}色^{しき}と^との^の調^{てい}和^わや^や現^{げん}在^{ざい}の^の生^{せい}活^{かつ}と^との^の関^{かん}係^{けい}を^を考^{かん}え^えよ^う。

3 持ち物

- 筆^{じゆ}記^ぎ用^{よう}具^ぐな^など・定^{じやう}規^ぎ・方^{ほう}位^い磁^じ針^{しん}・バ^バイ^イン^ンダ^ダー
- 帽^{ぼう}子^し・水^{すい}筒^{とう}・軍^{ぐん}手^て・日^ひ焼^やけ^け止^とめ^め・雨^{あめ}具^ぐ
- は^はき^きな^なれ^れた^たス^スニ^ニー^ーカ^カー^ー・リ^リュ^ュック^{ック}サ^サツ^ツク^クな^など

4 注意事項

- (1) 文^{ぶん}化^か遺^い産^{さん}の^の中^{ちゆう}に^には、さ^さわ^わっ^ては^はい^いけ^けな^ない^いも^もの^のが^があ^あり^りま^ます。
- (2) 博^{はく}物^{ぶつ}館^{かん}な^なの^の展^{てん}示^じ品^{ひん}の^の中^{ちゆう}に^には、写^{さつ}真^{えい}撮^{さつ}影^{えい}が^が禁^{きん}止^しさ^され^れて^てい^いる^るも^もの^のが^があ^あり^りま^ます。
- (3) い^いた^たず^ずら^らや^や悪^{あく}ふ^ふざ^ざけ^けを^をし^して^ては^はい^いけ^けま^ませ^せん。
- (4) 足^{あし}元^{もと}、頭^{あたま}上^{うへ}に^に十^{じゅう}分^{ぶん}に^に注^{ちゆう}意^いし、安^{あん}全^{ぜん}を^を確^{かく}保^ほし^しよ^う。
- (5) 大^{だい}人^{にん}の^の話^わを^をよ^よく^く聞^きこ^う。



1 世界遺産

「平泉の文化遺産」 = 【 平和 】への願い 【 自然 】との共生

資産名

平泉 - 仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群

構成資産(5つ)を次ページの地図上から探し出して丸をつけよう。

2 奥州藤原氏が誕生するきっかけとなった2つの大きな戦い

前九年合戦(1051~1062) ⇒ 安倍氏が滅亡、清原氏の台頭

【 清原氏 】・【 源頼義 】連合軍 VS 【 安倍 】氏

後三年合戦(1083~1087) ⇒ 清衡の勝利、平泉の時代へ

【 清衡 】・【 源義家 】連合軍 VS 【 家衡(清原氏) 】

右の岩手県地図の中から「平泉町」を探して赤く塗ろう!!



3 平泉が栄えた時代はいつ?

710

794

1192

1333

	奈良時代	平安時代	平泉	鎌倉時代	室町時代
--	------	------	----	------	------

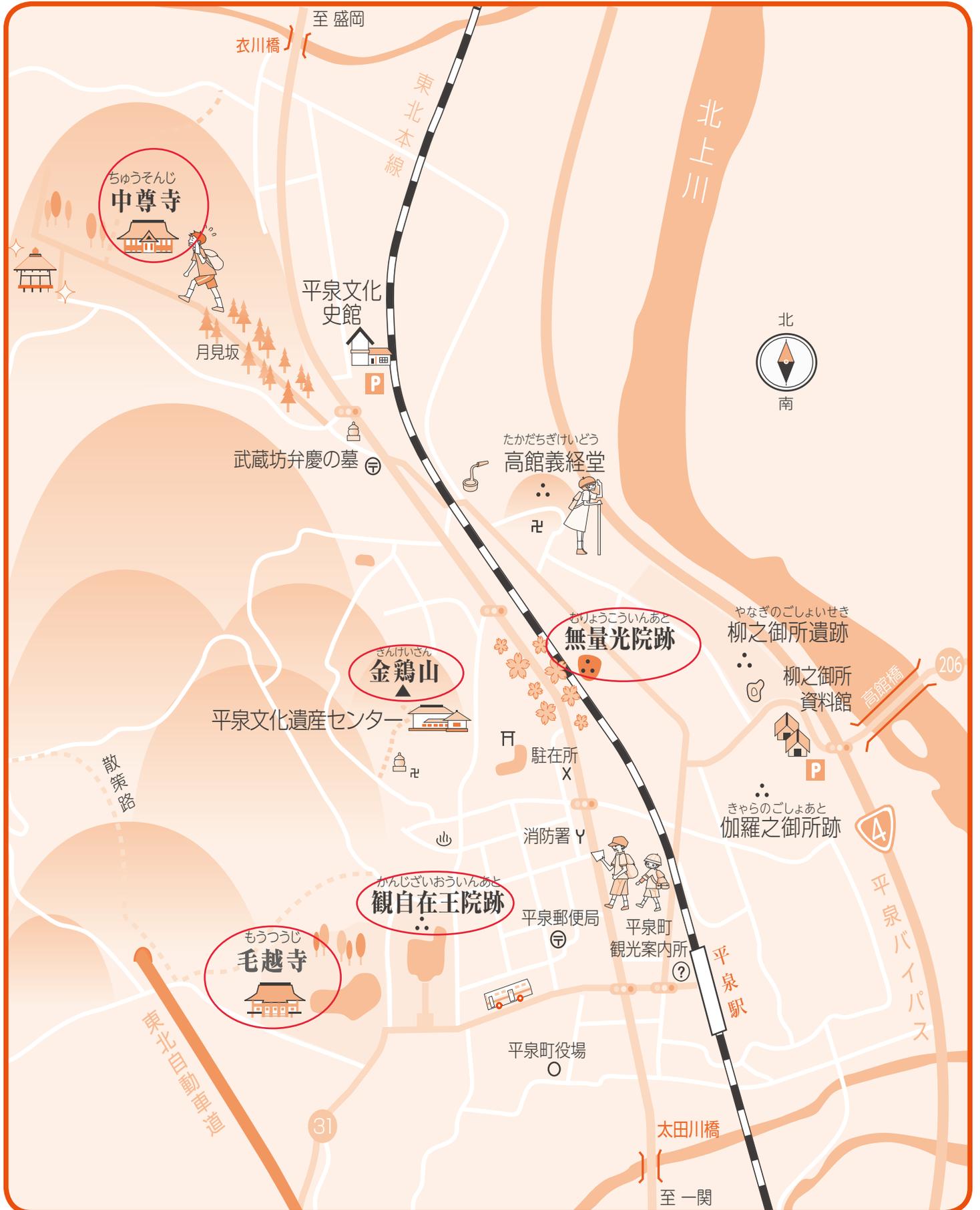
《「平泉の時代」=約 100 年間》

4 奥州藤原氏

	人名	関連寺院(跡を含む)	分かったこと
初代	藤原 清衡	中尊寺	『ときめき平泉の文化遺産』14ページ参照
二代	藤原 基衡	毛越寺	『ときめき平泉の文化遺産』16ページ参照
三代	藤原 秀衡	無量光院跡	『ときめき平泉の文化遺産』18ページ参照
四代	藤原 泰衡		『ときめき平泉の文化遺産』19ページ参照

それぞれの人物について、『ときめき平泉の文化遺産』を読んで分かったことを書いてみよう。

平泉町文化遺産マップ





事前学習

1 1951 (昭和26)年、中尊寺の金色堂は国宝に指定されました。

日本中にたくさんの国宝建造物がありますが、金色堂は何番目に国宝に指定されたでしょう？

答え [1番]

MEMO

「同時期に指定された国宝は？」

東大寺南大門、慈照寺銀閣、薬師寺東塔、姫路城天守閣など

2 中尊寺の金色堂の須弥壇内には、何が納められているのでしょうか？

答え [藤原3代のご遺体と泰衡の首級]

MEMO

「納められていた状態（並びなど）は？」

中央の壇に清衡、向かって左の壇に基衡、右の壇に秀衡の御遺体と泰衡の御首級(みしるし)

3 中尊寺の金色堂は一度、大修理を行っています。

① いつからいつまでですか？

答え [1962年から6年間]

② 金色堂の柱の飾りには、どんなものが使われていましたか？

答え [蒔絵（漆）、螺鈿（貝殻）、金箔]

MEMO

「漆などの材料はどこから？」

修理には浄法寺漆を採用

4 江戸時代の俳人松尾芭蕉は、中尊寺金色堂についてどのような俳句をよんでいますか？

答え [五月雨の降残してや光堂]

MEMO

「これ以外で松尾芭蕉の平泉に関する句は？」

夏草や兵どもが夢の跡

◇ 野外学習

1 金色堂を見学してわかったことを、3つ書いてみよう。

① 解説の放送を聞いて書いてみましょう。 例) 屋根の材質は?

②

③

2 下図の中尊寺伽藍(寺院の建物)配置図を完成させよう。

句碑・詩碑



3 覆堂を最初に建てたのは鎌倉幕府と伝えられています。なぜ覆堂をつくったのでしょうか。

理由	<p>金色堂を風雪から守るため</p> <p>なぜ鎌倉幕府は、中尊寺や毛越寺を残したのでしょうか。自由に考えてみましょう。</p>
----	---



事前学習

- 1 3代秀衡^{だいひでひら}はある人物をかくまいます。しかし、秀衡の跡^{あと}を継いだ4代泰衡^{やすひら}は、その人物を襲^{おそ}い、自害^{じがい}に追い込みます。その人物とはだれですか？

答え **源義経**

MEMO

「この人物はなぜ2度も平泉に来たの？」

自由に考えてみましょう。

例) 西国は平氏の勢力下、東北と源氏の深いつながり、良馬をもとめて など

- 2 4代藤原泰衡^{おけ}の首桶^{しゅし}から発見された種子は、何の花の種子ですか？

答え **ハス**

MEMO

「その後、この花の種子はどうなった？」

約800年の歳月を経て開花させることに成功しました。

現在は中尊寺の池だけでなく、株分けされて平泉町以外でも咲いています。

- 3 中尊寺讚衡蔵では、金^{ぎん}と銀^{ぎん}で書き写したお経^{きょう}が納め^{おさ}られています。それを何と呼びますか？

答え **紺紙金銀字交書一切経**

MEMO

「このお経は、中尊寺以外ではどこに保管^{ほかん}されている？」

現存するものの大半が高野山に移されています。

- 4 中尊寺讚衡蔵では、中尊寺建立供養願文^{こんりゅうくようがんもん}をみることができます。

それにはどんなことが書かれていますか？

答え 「戦争^{せんそう}でなくなった全てのものを、**敵味方**」の

区別なく **極楽浄土** へと導^{みちび}きたい。」

MEMO

「この願文の内容とユネスコ憲章との共通点^{きょうつうてん}は？」

平和な理想社会の建設を目指す



事前学習

1 毛越寺にある池や仏堂を配置した庭園を何庭園とイイますか？

答え

浄土庭園

MEMO

「この時代の理想的な庭園とは（『作庭記』より）？」

立石、島、池、遣水、枯山水などのあり方は？

2 「浄土」とはどんなところでしょうか？

答え

自由に考えて、表現してみよう。

3 毛越寺常行堂で、毎年1月20日に奉納される演舞（重要無形民俗文化財）を何とイイますか？

答え

延年の舞

MEMO

「この舞の意味や目的は？」

無病息災や延年長寿への祈り

4 観自在王院を建立したのは二代藤原基衡の妻です。その妻の父は誰ですか？

答え

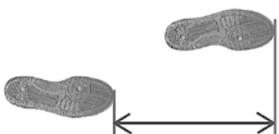
安倍宗任

MEMO

「安倍氏と奥州藤原氏との関係は？」

「ときめき平泉の文化遺産」の13ページを参照

5 歩測による測定の仕方を学ぼう。



歩測とは、自分の歩幅を知ることによって距離を簡単に測ることができる方法です。

10歩歩いた距離を10で割ると、1歩の平均値が出るよ。

君の1歩は？

cm

注意点：目標を見つけてテンポよくまっすぐ歩く！！

野外学習で、自分の歩測の精度を試してみよう。

野外学習

1 おおいづみ 大泉が池を一番かっこよく見せる写真を撮ろう。



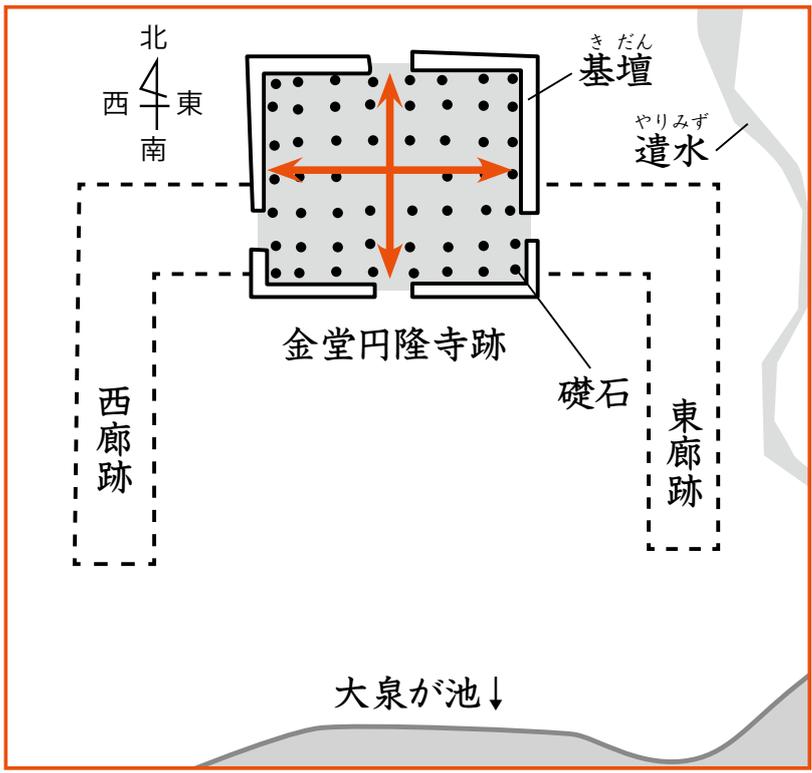
(ここに写真をはりつけよう)

〈メモ〉
 写真を撮った場所や方向、撮影時の天気などを
 図やメモ欄に記入しよう。

(説明文) どんなところがカッコいい? 撮影のねらいなど

2 こんどうえんりゅうじあと 金堂円隆寺跡の一番外側の※礎石間の長さ(縦と横)を歩測で割り出し、当時の建物の大きさを調べてみよう。

※礎石(●印) …柱をのせるためにおいた石



南北の長さ
 答え [約28 m]

東西の長さ
 答え [約23 m]

建物の大きさ(面積)
 答え [約644 m²]

- 巻き尺で長さを測り、自分の歩測の精度を確かめてみよう。
- 自分たちの教室の大きさと比べてみよう。



事前学習

- 1 無量光院は、三代秀衡がある建物を模倣（まね）して建てました。その建物とは何でしょう？

答え 平等院鳳凰堂



参考にした建物

MEMO

「この建物と末法思想の関係は？」

末法思想とは？ 日本における末法初年は1052年
平等院の建立年は？阿弥陀如来への救いや浄土への憧れ

- 2 初代藤原清衡・二代藤原基衡は押領使（軍事・警察の長）に任命されました。三代藤原秀衡は、それより上の位の鎮守府将軍になり、さらに上の位の職（東北の県知事の代表のような職）に任命されます。それは何ですか？

答え 陸奥守

MEMO

「それまでこの職にはどんな人が任命されていた？（中央の貴族？それとも地方の有力者？）」

中央貴族が任命される職に地方豪族が任命。それだけの権力を奥州藤原氏は持っていた。

- 3 金鶏山は、無量光院の西に位置し、平泉の町づくりに重要な役割をはたしたと考えられます。奥州藤原氏は、金鶏山にある物を埋め、それ以来、聖なる山としてあがめました。何を埋めたのでしょうか？

※「雌雄一對の黄金の鶏を埋めた」の伝説もありますが、それとは別です。

答え 経筒

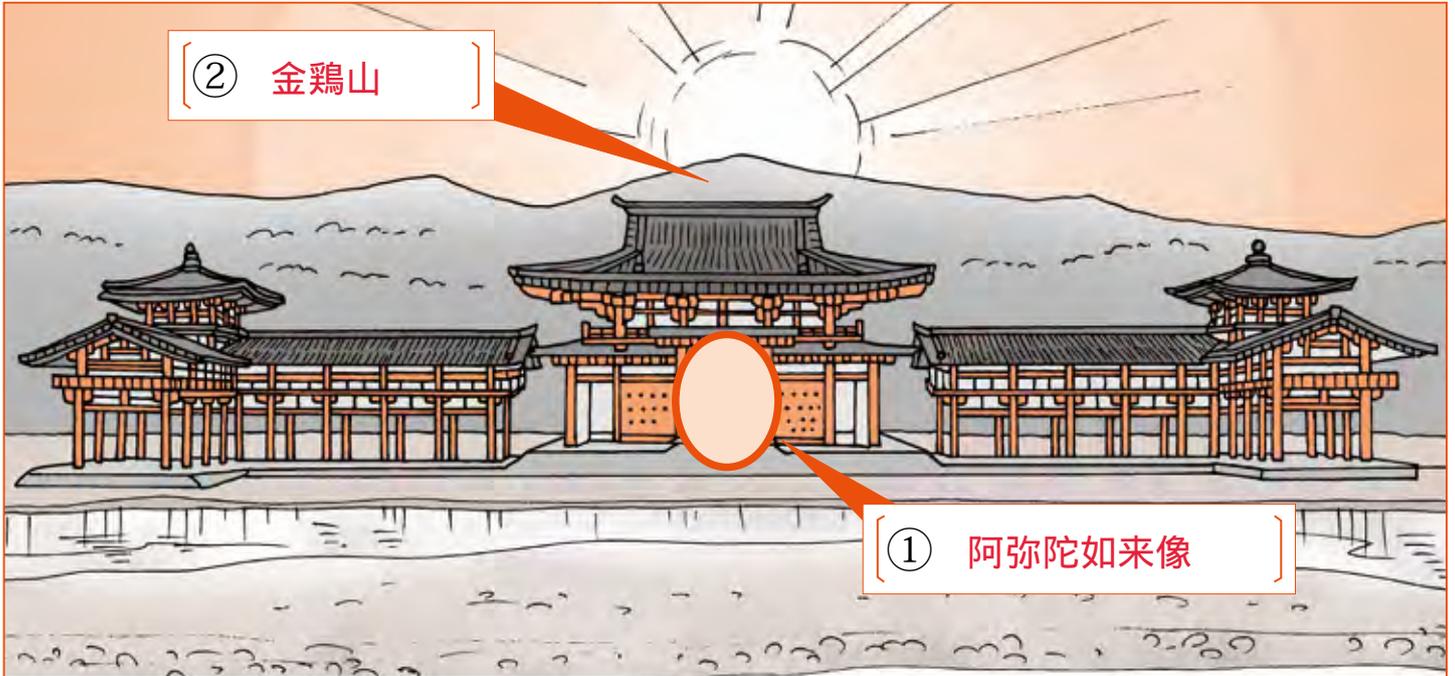
MEMO

「金鶏山に関する伝説とは？」

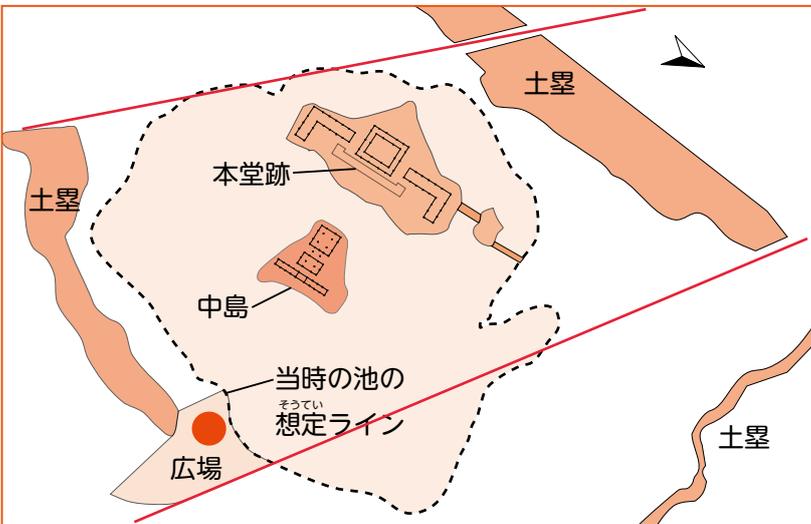
一晩で築いた とか 北上川まで人夫を並べて築いた など

◇ 野外学習

1 次の図は、無量光院を正面から見た図（^{そうてい}想定）です。①  のところにあつた^{ぶつぞう}仏像の種類は何か、②無量光院の後ろ（^{にしがわ}西側）にある、まさに夕日（^{ゆうひ}）が沈もうとしている山の名前はなにか。それぞれの名前を書きましょう。



1 下の図は、無量光院の^{はいち}配置について示したものです。この図に現在の池の形や道路・^{じょうききょう}鉄道などの状況を書き込んで、当時の状況と^{ひかく}比較してみましょう。また、広場の●から西を見た時に、現代の人によって作られたどんなものが見えるかな？下の〔 〕に書き出してみよう。



※ヒント

- ・左の図の現在の土塁の形から線路がどのように通っているか考えてみよう。
- ・広場や土塁の形から道路がどのように通っているか考えてみよう。

注意 !!

- 土塁にはのぼらない。
- 線路には近づかない。

見えたものを書いてみよう
 例) 鉄塔、家、道路、電線など



- 1 柳之御所遺跡の場所にあったと推定されている奥州藤原氏の政庁（政務をおこなう役所）を、鎌倉幕府の歴史書である『吾妻鏡』では何と書いていますか。

答え 〔 平泉館 〕

- 2 柳之御所遺跡で出土した遺物について、以下の問題に答えよう。

- ① 10数トンも出土している、宴会で使われた素焼きの土器は何ですか？

答え 〔 かわらけ 〕

- ② 中国からもたらされた非常に高価な焼き物は何ですか？

答え 〔 陶磁器 〕

- ③ 右の写真は、4つの文字が彫られた銅印（はんこ）です。よく見ると右上に「村」の文字があり地名のようですが、現在のどこを指すのかはわかりません。この銅印に彫られている4文字は何でしょうか？



答え 〔 磐 前 村 印 〕

- ④ 出土した細長く加工された板片で、当時の人々がトイレットペーパーのように使っていたものは何と言いますか？

答え 〔 ちゅう木 〕

- ⑤ 柳之御所資料館には、右の絵に描かれている道具類（上記①以外にも）が展示されています。どんなものが展示されているのでしょうか？



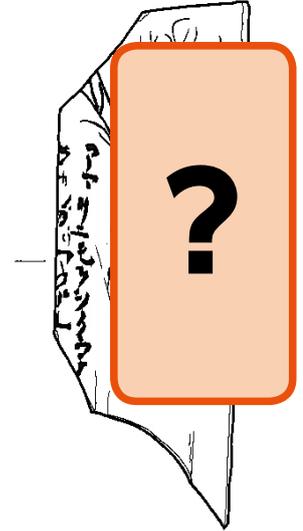
〔 折敷、硯、扇 〕

⑥ 奥州藤原氏は、北海道やさらにその北に住む人々とも交易こうえきをしていました。
 北方ほっぽうからはどのような珍しい品物めづらが平泉に入ってきたのでしょうか？

答え アザラシの皮、鷲の羽

⑦ 右の資料しりょうは、柳之御所資料館に展示されている
 「折敷」の破片おしき はへん すみに墨で絵が描かれています。

?の部分には、ある生き物が人のように描かれています。その生き物は何でしょうか？



答え カエル

こくほう ちょうじゅうじんぶつぎ が
 国宝『鳥獣人物擬画』とそっくり!!

⑧ 下の図は柳之御所史跡公園しせきこうえんです。発掘調査はっくつちようさで確認された遺構いこう（構造物の痕跡こうぞうぶつ こんせき）のいくつかを復元表示ふくげんひようじしています。



図中★は何を復元ふくげんしていますか？

答え 井戸

広場から金鶏山むりょうこういんあとや無量光院跡は、どの方向に見えますか？

答え 西側

4号バイパスがわ側は土を高く盛もって木を植うえています（修景盛土しゅうけいもりど）。そうした目的は何でしょうか？

車の姿や音を遮り、景観を守るため

1 達谷窟 ← 何と読みますか？

答え

たっこのいわや

① 毘沙門堂について

ア 創建者と伝えられている人はだれですか。

答え

坂上田村麻呂

イ 最初に建てられたのはいつですか。

答え

802年

ウ 何のために建てられたお堂ですか。

答え

悪路王などの蝦夷を倒したお礼

② 毘沙門堂を観察してみましょう。

変わったつくり方をしていますね。特徴を描いてみよう。

崖に張り付くようにたてられている。
清水寺と似ている。
懸造り。

③ 磨崖仏について

ア 顔を描いてみよう。

イ 顔の大きさは何メートルですか。

答え

約3.6

m

2 しろとりたていせき 白鳥館遺跡

- ① 『ときめき平泉の文化遺産』なども参考にして、現在の陸地と川の流れの地図を描いてみよう。さらに、白鳥館遺跡の位置を確認してみよう。



- ② 上の地図の特徴を書き出してみよう。

- ・ 北上川に囲まれている など
- ・

- ③ このような地形から、当時の平泉にとって物資の輸送や交通の要だった場所と考えられています。輸送・交通の主要手段として何が使われたと考えられますか。

答え

舟

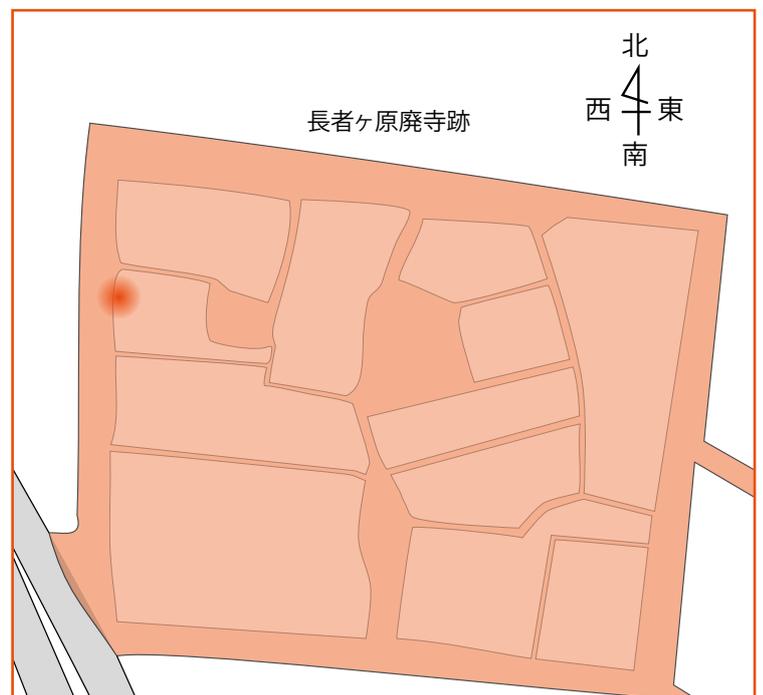
3 ちやうじゃがはらはいじあと 長者ヶ原廃寺跡

右図の 内に以下のものを書き込んで、寺院の配置をイメージできるようにしよう。

- ほんどうあと 本堂跡
- なんもんあと 南門跡
- ついじべいあと 築地塀跡

本堂と南門を直線で結び南側に延ばすと、次のどこにぶつかるでしょうか？

- ① 金鶏山 ② 関山 (中尊寺) ③ 束稲山



4 ほねでらむらしやうえん いせき 骨寺村莊園遺跡

- ① 骨寺村莊園遺跡は、^{ちいき}地域における人々の生活または^{なりわい}生業および^{とうがいちいき}当該地域の風土により形成された^{けいせい}景観地の中でも特に^{けいかんち}重要なものとして、2006年(平成18年)に国の^{へいせい}重要^{じゅうよう}文化的景観に^{ぶんかてきけいかん}選定^{せんてい}されました。この^{けいかん}景観を守るために、取り組んでいることを調べてみよう。

・ **地域の取り組みなどを調べてみましょう。**

- ② 莊園とは何でしょうか？

答え

貴族・寺社などの私有地

- ③ この莊園は^{おうしゅうふじわらし}奥州藤原氏の^{じだい}時代、だれによって^{かんり}管理されていたか。

答え

中尊寺

- ④ 下の絵は、^{かまくらじだい}鎌倉時代の^{げんち}莊園絵図です。現地を歩きながら、自分が今いる^{いち}位置^{たし}を確かめてみよう。



現地を歩いて気が付いたことを書いてみよう。

・ **当時の面影が現在も残っていることに着目しよう。**



1 1 遺体調査

1950 (昭和 25) 年に行われた奥州藤原氏のご遺体調査の結果、判明したことを調べてみよう。

「ときめき平泉の文化遺産」28ページを参照

2 文化遺産を後世に残す取り組み

① 1962 (昭和 37) 年から 6 年間にわたって、金色堂の修理が行われました。その内容を調べてみよう。

「ときめき平泉の文化遺産」28ページを参照

② 1993 (平成 5) 年、国は北上川の堤防とバイパス道路の計画を変更し、柳之御所遺跡を保存することを決定しました。その過程を調べてみよう。

「ときめき平泉の文化遺産」29ページを参照

3 文化遺産を守る町の取り組み — 景観に配慮しているところ —

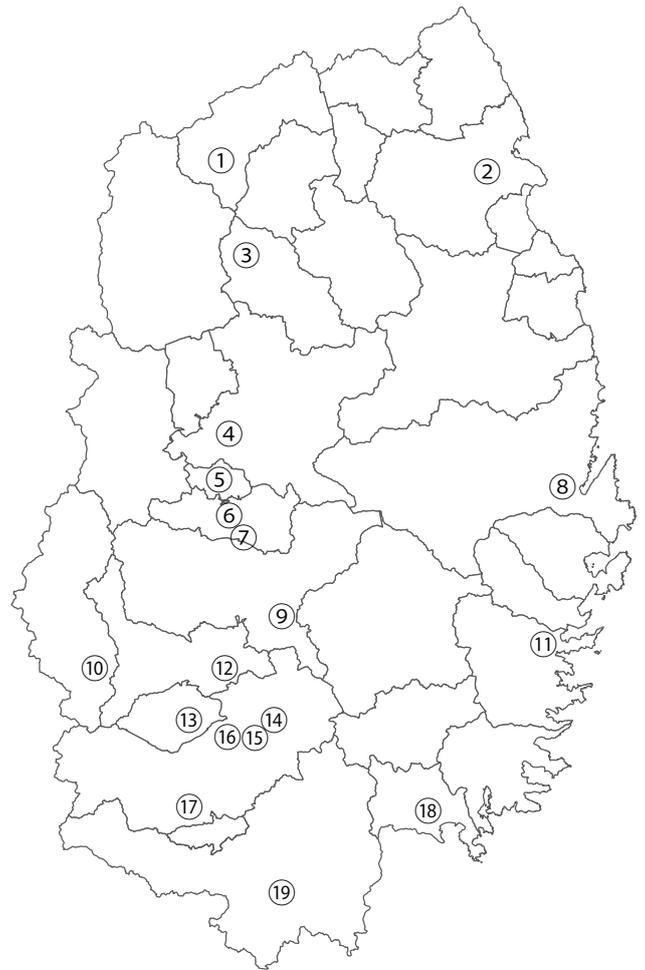
① 建物の構造や色には、どのような決まりがあるのか、調べてみよう。
(個人住宅、コンビニなど)

② 電柱はどのように設置していますか、調べてみよう。

地中化

おうしゅうふじわらし かんれん いせき のぞ
奥州藤原氏との関連があると考えられている遺跡など(本学習帳で紹介している遺跡を除く)

①	てんだいじ 天台寺(二戸市浄法寺町) いぜん 平泉以前に開かれたとされる天台宗の寺院
②	ひるばさわ 昼場沢遺跡(久慈市旭町) ぶつぞう きざ 仏像を刻んだ青銅製の鏡が出土
③	こがねどう 黄金堂遺跡(岩手町) つば 壺や仏像の一部が出土
④	くりがわのさくぎていち 厨川柵擬定地(盛岡市) あべし 安倍氏の北辺の拠点があったといわれる。
⑤	じょうないさんちやう 城内山頂遺跡(矢巾町) きょうづか どうき 経塚。陶器の壺にお経を入れて埋納
⑥	じんがおかじんえいあと 陣ヶ岡陣営跡(紫波町宮手) めつぼう 奥州藤原氏を滅亡させた源頼朝が布陣した地
⑦	ひづめたち 比爪館跡(紫波町南日詰) ふじわらのきよひら 藤原清衡の子を祖とする比爪一族の居館
⑧	たくさくまどうまえ 田鎖車堂前遺跡(宮古市田鎖) しやうへん 宮古周辺における奥州藤原氏関連の中心拠点が
⑨	たんないさん 丹内山神社(花巻市東和町) あつ しんこう 藤原清衡も篤く信仰したといわれる神社
⑩	たけやまぼくじやう 峠山牧場I遺跡(西和賀町) むす 秋田方面を結ぶ古道が通っていたとの伝承がある
⑪	かわら 川原遺跡(釜石市鶉住居町) てつきせいぞうこうぼうあと すいてい 奥州藤原氏時代の鉄器製造工房跡と推定される
⑫	くにみさんはいじ 国見山廃寺跡(北上市稲瀬町) ごじやうのどうあと 五重塔跡などを有する北東北有数の山岳寺院
⑬	とのみのさく 鳥海柵跡(金ヶ崎町西根) あべのおねどう 安倍宗任が主と伝えられる安倍氏が築いた柵の一つ
⑭	ますざわいんあと 益沢院跡(奥州市江刺区) とうと 藤原清衡が尊い経文を写させた場所
⑮	とよたのたちあと 豊田館跡(奥州市江刺区) うつ いぜん 藤原清衡が平泉に拠点を移す以前の居館といわれる
⑯	いさわじやう 胆沢城跡(奥州市水沢区) さかのうえのたむらまろ 坂上田村麻呂によって造営された陸奥国北部の支配拠点
⑰	せったいだて 接待館遺跡(奥州市衣川区) ていぼう 堤防工事にかかわる発掘調査で堀跡や大量の土器が出土
⑱	おつとうちきやうづか 越戸内経塚(陸前高田市矢作町) きょうづか 経塚。陶器の壺にお経を入れて埋納
⑲	かわさき さく 河崎の柵擬定地(一関市川崎町) きざ 安倍氏が築いた柵があったといわれる。発掘調査で堀跡などを確認



企画編集 世界遺産平泉保存活用推進実行委員会
 (事務局) 岩手県文化スポーツ部文化振興課

発行 世界遺産平泉保存活用推進実行委員会
 (事務局) 岩手県文化スポーツ部文化振興課
 (検討委員) 菊池 勉 熊谷道仁
 今野日出晴(座長)
 千葉憲一 松田 薫(敬称略 50音順)
 (助言) 岩手県教育委員会事務局学校教育課

発行年月 平成30年3月 初版第1版 発行
 お問い合わせ 岩手県文化スポーツ部文化振興課
 〒020-8570 盛岡市内丸10-1
 TEL019-629-6488 FAX019-629-6484
<http://www.pref.iwate.jp/>



平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金
 (文化遺産総合活用推進事業)